

令和7年度（2025年度）江戸川区立清新第一小学校（算数）科 第（5）学年					
年間指導計画 及び評価標準					
【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ					
学期	月	単元名	評価項目	評価標準	
1学期	4	整数と小数/体積	【知 技】	整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。	
			【思 判】	整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。	
			【主 体】	整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	
			【知 技】	体積の単位「 cm^3 、 m^3 」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。	
			【思 判】	体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。	
	5	2つの量の変わり方/小 かけ算/合同と三角形、四 角形	【知 技】	直方体や立方体の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【思 判】	簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。	
			【主 体】	伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。	
			【知 技】	伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【思 判】	乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	
2学期	6	2つの量の変わり方/小 かけ算/合同と三角形、四 角形	【思 判】	乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。	
			【主 体】	小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が 180° になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。	
			【思 判】	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。	
			【主 体】	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
	7	小数のわり算	【知 技】	除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	
			【思 判】	除法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。	
			【主 体】	小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	整数は素数を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。	
			【思 判】	整数は素数を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。	
3学期	8・9	整数の見方/分数の大き さとしたし算、ひき算	【思 判】	整数の性質や整数の構成を調べることに伴って、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【主 体】	分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができる。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	
			【知 技】	数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。	
			【思 判】	分数の意味と表し方、異分母の分数の加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【主 体】	いくつもの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するとよいことを理解し、平均を求めることができる。	
	10	平均/単位量当たりの大き さ	【思 判】	概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。	
			【主 体】	平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。	
			【思 判】	異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。	
			【主 体】	異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
4学期	11	わり算と分数/割合	【知 技】	整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。	
			【思 判】	分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。	
			【主 体】	分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。	
			【思 判】	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係を別の2つの数量の割合との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。	
	12	割合とグラフ	【主 体】	割合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりより数値たりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。	
			【思 判】	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。	
			【主 体】	データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。	
5学期	1	四角形や三角形の面積	【思 判】	図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	
			【主 体】	四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。	
			【思 判】	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。	
			【主 体】	正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
	2	正多角形と円/角柱と円柱	【知 技】	角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。	
			【思 判】	図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。	
			【主 体】	角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	
			【知 技】	・第5学年の学習内容について、知識及び技能を身に付けている。	
			【思 判】		
			【主 体】		
	3	算数を使って考えよう/5 年のまとめ	【知 技】		
			【思 判】		
			【主 体】		
			【知 技】		
			【思 判】		